

動労千葉結成一周年 5.17記念講演集会を成功させよう!

日刊動労千葉

80.5.13
NO. 426

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話三三三二七二〇七)

5.17←5.25三里塚へ!
選別的な不当処分策動粉碎・乗務員運用合理化阻止
闘争の突破口としよう!

国鉄当局・動労「本部」反動分子一体となった選別的な不当処分策動に組織破壊攻撃に対し、わが動労千葉は、全支部、全職場における職場集会、集団現場長交渉などをつぎつぎと開催し、不当処分粉碎にむけて全組合員の不退職の決意をうちかためている。目前にせまった五・一七結成一周年記念講演集会を文字通り千四百組合員の不当処分粉碎にむけた総決起の場としてかちとり、ひきつづく五・二五三里塚現地集会へ圧倒的に結集しよう。

なぜ、国鉄当局は動労千葉に対する不当処分策動を強めているのか

国鉄当局が、なぜ動労千葉への選別的な不当処分策動を強めているのかは、この間、くりかえし『日刊』で明らかにしているように、第一に、動労「本部」反動分子の「動労千葉を弾圧・処分せよ」なる正式文書にもとづく「申入れ」を最大限利用した国鉄当局の動労千葉つぶし組織破壊策動である。

第二に、国労、動労「本部」が国鉄三十五万人体制攻撃に屈服し、特に動労「本部」が貨物安定宣言路線をもって積極的に国鉄再建合理化に協力している中で、反合・三里塚・ジェット闘争の闘い路線を貫徹しているわが動労千葉への組織破壊策動である。

第三に、来年三月の貨車輸送期限切れを前にジェット燃料輸送問題(パイプライン)のゆきづまりの中で、わが動労千葉への組織破壊攻撃が強められている。

第四に、全世界的な戦争の危機の深まりと、急ピッチの日本帝国主義の軍事大国化攻撃の激化の中で、既成労働運動の体制内化・右翼化という状況の下で、闘う動労千葉の存在そのものに対する支配階級の側からの攻撃としてかけられてきている。

5・17集会を突破口に全支部・全職場から不当処分粉碎へ総決起しよう!

このような国鉄当局・動労「本部」反動分子一体となった動労千葉つぶし組織破壊策動に対し、われわれは、この間、四月三十日弾劾声明を発し、五月一日第七回支部代表者会議の討論・決定をもって各支部職場集会、現場長集団交渉などをつみかさね、千四百組合員の総決起・総行動の闘い体制を着実にうちかためてきた。

そして、国鉄当局が不当処分攻撃を強行するならば、ただちに全支部、全職場で強力な非協力闘争・ストライキへと泥沼をも辞さず闘いに総決起する体制はますます万全に築き上げられつつある。こうした不退職の決意のもとに総決起した千四百組合員の闘いをもって房総半島はおろか、首都圏をもゆるがす強力な闘いを確実に実現しようではないか。

不当処分攻撃粉碎、国鉄三十五万人体制粉碎、乗務員運用合理化・検修合理化阻止、三里塚・ジェット闘争貫徹にむけて国鉄当局・動労「本部」反動分子をさらに追いつめよう。こうした闘いの突破口として、五・一七結成一周年記念集会を圧倒的に成功させ、五・二五三里塚現地集会に最大限の結集をかちとろうではないか。

5.17 動労千葉結成一周年記念講演集会
日時 五月十七日 十三時〜十七時
場所 千葉県労働者福祉センター大ホール
講演 「激動の八〇年代労働運動と動労千葉の任務」
浅田 光輝氏(立正大学教授)
レセプション 各界からの連帯のあいさつ

5.25 三里塚空港粉碎現地総決起集会
日時 五月二十五日 十二時
場所 三里塚第一公園
(成田運転区十時結集)

